

## 4. 地方からの便り

### 手作り拍子木で火の用心

福井県 丸岡町消防本部

丸岡町消防本部では、平成16年2月13日に手作り拍子木の寄贈式を行った。

これは、町内に住む男性が手作りで拍子木を作製し、これで町内の人々に防火を呼び掛けてもらおうと、幼年消防クラブ員達に贈られたものです。

木の材質に硬度差をつける為、梅と桜の木をセットにすることでより響くよう工夫されており、また、チビッ子が持ちやすいよう一辺が4cmと3.5cmの四角柱に仕上げられています。

贈られた子供達は拍子木を持ち、「丸岡町からは火事がなくなりますように」と元気良く、拍子木を打ち鳴らしました。



[▲ このページの上に戻る](#)

### かわいい園児がお年寄りを訪問

大阪府 熊取町消防本部

平成16年春の全国火災予防運動の行事の一環として、学校法人池浦学園熊取みどり幼稚園（池浦光男理事長）幼年消防クラブ員344名の内63名が、3月2日（火）に特別養護老人ホーム「永楽荘」（永山正己理事長・入所者50名）を防火訪問しました。



火の用心の揃いの法被に身を包んだ園児たちは、日頃懸命に練習をしている「歌」や「オペレッタ」などを元気一杯に披露し、最後に「ぼくたち、わたしたちは火あそびはしません。おじいちゃん、おばあちゃんも火事に気をつけ、いつまでも元気でいてください。」と永楽荘に入所しているお年寄りたちを前に防火の誓いを行いました。

▲ [このページの上に戻る](#)

## 健康まつりで防火啓発

和歌山県 有田消防組合消防本部



有田消防組合消防本部では、2月22日「金屋町健康まつり」において、東南海・南海地震に備えるため、防災体験コーナーを開催しました。

当日は悪天候にもかかわらず、煙体験・地震体験・消火体験と、また、ちびボン（ミニ消防車）の写真撮影に、地域住民が参加体験してくれました。

特に煙体験では、子供達に人気が集まったようで、視界の悪い状態を繰り返し体験をしていた子供達も、たくましく思えました。



## 安全運行の向上のために！

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、3月1日(月)から3月7日(日)まで実施される春の全国火災運動の推進項目のなかに車両防火が含まれていることから昔から地域に密着し、多くの皆様に親しみのある路線バスや循環バスなどの車両防火査察を開始しました。



この日は、南海ウイングバス南部株式会社において大型バスやマイクロバス約61台を対象に、車内に設けられた消火器の設置状況や非常扉の開閉状況などについて検査を行いました。

当日、検査に立ち会った関係者は「事故は、ちょっとした何げない行動から起こるものですが、一人ひとりの日頃からの防火意識で未然に防げるものです」と真剣な表情で立ち会い、査察を行った検査員も「昨年は管内において5件の車両火災がありました。いずれも普段からの整備ミスなどが原因によるものです。皆さんの協力でこのような火災を

撲滅させましょう」と訴えました。

消防本部では、これから引き続き12日(金)にかけて市内23事業所284台の車両に対し防火査察を行い、関係者及び利用者がより安全な車両運行ができるように火災予防を呼びかけています。

## 応急手当普及車(天然ガス自動車)を導入！

千葉県 松戸市消防局

松戸市消防局では、平成16年2月5日に第1号の燃料に圧縮天然ガスを使用した環境を考えた地球に優しい応急手当普及車を導入しました。

市民に応急手当の重要性を普及し、救命率の向上をめざす目的を分かりやすく表現するために「救命の連

鎖」と赤と青の波線で人の動脈と静脈をモチーフにして車体をデザインしています。

地球に優しい車は人に優しく、心肺蘇生法や止血法を多くの人に覚えてもらうため、町会や事業所などへ出向いていきます。



▲ このページの上に戻る

## 大雪像ドラえもん

青森県 下北地域広域行政事務組合消防本部



大畑消防署庁舎前に火の用心を呼びかける高さ5m、幅6mの大雪像「ドラえもん」が完成し、子供たちの人気を集めました。

昨年は8年ぶりに「湯婆婆」(13作目)を製作し、今年の人気アニメ「ドラえもん」で14作目となりました。

幼年消防クラブ員や防火モデル地区の子供会の児童らが訪れ、写真を撮ったり、歓声を上げ雪像脇に作ったすべり台を楽しみ、最後に園児、児童から署員に「火あそびは絶対にしません」を誓いを立てま

した。



▲ このページの上に戻る

## 大阪府防火クラブ大会

大阪府 危機管理室

大阪府内の婦人防火クラブ等民間防火組織の交流や拡充強化を図ろうと毎年開いている「大阪府防火クラブ大会」を平成16年2月6日(金)に開催しました。

第1部の式典では、約1万6千6百点の応募作品の中から選ばれた、今年度の大阪府児童・生徒防火図画入賞者12名の表彰、続いて婦人防火クラブ活動に著しい功績があり、他の模範となったクラブ2団体、クラブ員14名に対し表彰を行いました。



最後に、幼年・婦人防火クラブの代表者3人が、「クラブ活動を通じて“防火の輪”を一層広げ、火災のない明るい大阪のまちをつくります」と、力強く防火の誓いを述べました。

第2部では、元大阪市北消防署長の森田武氏による講演、次に吹田市家庭防火クラブ連絡協議会による防火演技を行い、参加者は、地域での防火活動を通じて、「安全で住みよい街づくり」への決意を新たに、クラブ大会は幕を閉じました。



▲ [このページの上に戻る](#)

盛大に集いを開催する

福島県 相馬地方広域消防本部



平成15年12月、原町市婦人消防隊員、私立青葉幼稚園幼年消防クラブ員及び、原町市立原町第三小学校少年消防クラブ員の協力を得て約400名が参加し、第3回原町市婦人消防隊の集いが盛大に開催され、防火に対する予防消防の意識の高揚を図りました。

この集いは、婦人消防隊の日ごろの活動に対し、市民の理解を得ることと、婦人消防隊への全戸加入を目的とし、「我が家からは絶対に火事を出さない」を合言葉に、平成11年に第1回を開催後、2年に1回の開催により今年で3回を数えていま

す。



この集いの中で、平成14年に当協会より助成を受け購入した液晶プロジェクターを使用し、婦人消防隊の活動等について紹介しました。

また、この液晶プロジェクターを使用した防火ビデオの上映を原町管内にある7箇所の保育所と8箇所の幼稚園で実施いたしました。

なお、市内の各保育所及び幼稚園では、火災発生時に安全に避難出来るよう春、秋の2回避難訓練を実施し訓練終了後、当協会より助成を受け購入した液晶プロジェクターを使用し、火災の怖さを理解させ防火意識の高揚を図るため、防火ビデオの上映会を実施しています。



---

[▲ このページの上に戻る](#)

## 鎌ヶ谷市危険物安全協会による幼少年婦人防火クラブへの助成

千葉県 鎌ヶ谷市消防本部

鎌ヶ谷市は、千葉県の北西部に位置し周囲30.75km総面積21.11 k m<sup>2</sup>で都心から25km圏内にあります。

鎌ヶ谷市危険物安全協会は、鎌ヶ谷市内に在する危険物施設等を有する事業所の所有者や管理者、占有者により融和、親睦と危険物の取扱い管理の向上を図り、危険物に起因する災害防止に努め、事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的として、昭和47年9月1日に発足しました。現在68事業所を会員として活動を行っております。

主な活動内容のひとつとして、他の防火団体への支援を行っており、幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブにより構成されている防火委員会を積極的に支援し、防火の推進を図っています。

鎌ヶ谷市危険物安全協会は、昨年発足30周年という大きな節目を迎え、これからは今まで以上にこれまでの実績と蓄積された経験を生かし、会員相互の情報交換等を通じて危険物保安に関する知識、技術の修得、向上及び危険物法令の遵守を図るなど危険物災害の防止に努めると共に地域社会の安全確保のために事業を一層積極的に推進してまいります。